

港区立高松中学校
令和3年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査の結果を踏まえた課題

国語	全体の正答率は全国平均と比べ、1年生で7.4ポイント、2年生で6.1ポイント、3年生で8.5ポイント上回っている。領域別、観点別の正答率も平均を上回っているが、新学習指導要領における3観点に対応し、各領域の力の育成が個々ばらばらの取り組みにならないよう、生徒が各領域の力を調整し課題解決に取り組むため、これまで以上に、各領域を関連付けた指導方法を工夫し、授業を改善していくことが課題である。
社会	全学年、区・全国の正答率を上回っているものの、十分な正答率であるとは言えない。設問ごとにみると、1年生で1つ、2年生で6つ、3年生で3つ目標値を下回る問題がある。特に2学年では極端に正答率が低い箇所が見受けられているので、再度基礎事項の確認をする必要がある。資料を適切に読み取り、得られた知識を関連付けたり比較したりして考察していくことで、概念としての理解を深めるようにしていきたい。それと同時に個別的知識があやふやな生徒が見受けられるので、基本となる知識の定着に力を入れたい。
数学	<p>【3年】全体の校内平均正答率が、全国・区よりもおよそ9ポイント上回っている。これは本校3年生において五科の中で最も高い数値である。心配された観点の「数学的な見方や考え方」の正答率も同様で想定より良好であった。しかし、新学習指導要領による新しい観点「思考・判断・表現」の力を伸ばすことは、今後とも留意が必要で課題でもある。</p> <p>【2年】全体の校内平均正答率が、全国・区よりも8.5ポイント以上上回っている。本校のみ観点別正答率を見ると「数学的な見方・考え方」の正答率が「知識・理解」、「技能」より低い。さらに、「関心・意欲・態度」の方が低いポイントとなっている。すなわち、新学習指導要領における「思考・判断・表現」の力を伸ばすとともに、学習に対する興味関心を引き出す指導を合わせて行う必要がある。</p> <p>【1年】全体の校内平均正答率が、全国・区よりも7ポイント以上上回っている。観点別に見ると「思考・判断・表現」の正答率は全国・区よりも10ポイント近く上回っている。「資料の活用」の内容別正答率が低い（校内は53.5、区は45.4、全国53.1）ので、「データの分析と活用」で小学校の復習を行うとともに基本的なことをきちんと指導していきたい。また学習習慣が身に付いていない生徒が多く、既習内容の定着が不十分である。基礎的・基本的な知識・技能をさらに身に付けさせる必要がある。</p>
理科	校内平均正答率が、全国に比べ1学年6.5ポイント、2学年7.5ポイント、3学年6.2ポイント上回っている。各分野別にみても全体的に上回っているが、2学年では、「動物の分類」「火山」、3学年では、「化学変化と質量のグラフ」の内容で目標値を下回っている。また、内容によって理解度に差もみられる。基礎・基本の確実な定着と、データのグラフ化および化学変化と質量の関係の十分な理解が必要である。
外国語	(3年)問題の内容別正答率ではすべての項目で目標値を上回っているが「語形・語法の知識・理解」が目標値+1.2ポイント、区平均-3.0ポイントである。正確な単語の綴りを身に付けさせることが課題である。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を受け止め、主体的に判断しながら、課題を解決する能力。 ・目的に応じて必要な情報を見出し、場面や相手にふさわしい表現を工夫する能力。 	漢字の読み・書き、文法、説明文の読解等で身につけた知識、見方、考え方を応用し、スピーチ原稿、意見文を作成し、その過程をテーマ作文に応用するなど、各領域の学習内容を生徒が調整しながら学習に取り組めるよう課題を設定し、それを支援する。また、各学年と連携しながら、総合的な学習の時間などにも、国語で学習したことを応用していく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<p>様々な資料から情報を適切に読み取り、社会的事象や社会的な課題を理解する力。様々な状況で発生する社会的な課題を多面的・多角的に考察する力。主体的に社会に参画し、持続可能な社会を形成していこうとする意欲や態度。</p>	<p>教師からの一方的な内容教授ではこのような資質・能力が育まれないのは当然である。生徒が考えたい、追究したい課題を用意し、見方・考え方を働かせることのできる問いを設定する。そして単元を通じてその課題の解決を図っていく単元設計を行うことが肝要である。そのような真正の問いを立てることで、はい回る事のない、思考が活動的である深い学びをめざす。また ESD の視点を取り入れることで社会の持続可能性に注目させ、社会的な課題に当事者意識をもたせ、主体的に他者と協働しながら社会参画していこうとする態度を育成していく。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
数学	【3年】数学的な思考力・判断力・表現力	【3年】習熟度別少人数指導の良さを活かし、教科書やプリントの問題演習における個別指導の一層の充実をはかる。具体的には各個人の発問に対する応答に対し細かな助言を与えるなどである。また、ワーク類の提出物について緻密に点検し、適時改善点を指摘する。
	【2年】数学的な思考力・表現力・判断力	【2年】習熟度別少人数指導の良さを活かし、基礎・基本の確実な習得を図る。その際に個別指導の充実を目標に取り組んでいく。また、課題解決学習を取り入れ、他者との意見交換を積極的に行い、思考力・表現力・判断力を養っていく。
	【1年】数学的な思考力・表現力・判断力	【1年】少人数指導の良さを活かし、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図る。また、言語活動、観察・実験、問題解決的な学習などを積極的に取り入れ、学習の質を向上させ、論理的、統合的・発展的に考えることができるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	【全学年】 ・基礎・基本の確実な定着	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストやスモールステップ学習等で基礎の確実な定着を行う。 ・教え合う授業を行い、ある程度理解している生徒の確実な理解を促すとともに、理解が不十分な生徒のミニティーチャーによる理解度向上を図る。
	・データのグラフ化とグラフの読み取り能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフの扱いを、基本から応用まで、例題や練習問題に取り組みながら時間をかけて行っていく。
	【2学年】 ・生物の特徴と分類の確実な理解	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を多く示しイメージをつかみやすくするとともに、小テストによる知識の定着を図る。
【3学年】 ・化学変化と質量の内容の理解向上	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集、演習問題等を利用した数値を扱った内容や、グラフの扱いについて時間をかけて行っていく。 	

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	音楽に対する感性を働かせて、音楽を形作っている要素とその働きの視点でとらえ、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化と関連づける。	歌唱や器楽において、反復練習とゆっくり練習が最も大切な基本練習となる。その上でアーティキュレーションやアゴーギグなどの技術や表現を工夫していくことを心がける。対話的な学び合いを音楽によって図りながら指導していく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に発想し、構想を練る力。基礎・基本的な技能を習得し、創造的に表す力。美術作品や生活の中の美術の働きについて、広い視野で捉える力。	授業開始時に、制作の目的や目標を明確にし、見通しをもたせる。制作の活動と鑑賞の学習を関連させ、発想力・構想力を高める。平塗りや浮彫りなどの基礎技能を定着させ、応用力を培う。鑑賞の授業では、美術作品と歴史や生活との関係を確認し、より深い学びにつなげる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
保健体育	運動構造や運動の行い方の深い理解。その運動の実現に向けて自己の課題を設定し、自己調整しながら取り組んでいく力。	運動構造の分解と段階的な指導により、運動構造の理解に努める。また、その運動を行っていく際に必要な力や技術、動きを考えさせるために学習カードで課題を可視化する。また、客観的なアドバイスをし、運動の躓きの理由を考えさせて自己調整を図らせる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
技術・家庭	<p>【3年】よりよい社会の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造する力。</p> <p>【2年】生活や社会の中から課題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力。</p> <p>【1年】社会で活用している材料、加工および情報について、基礎的な理解、技能を身に付け、技術と生活、社会、環境について理解を深める力。</p>	<p>保育やプレゼンテーションの制作、修正、発表をとおして、最適化を図り、社会との結びつきを深める。</p> <p>ラジオ製作を通して、エネルギー変換の仕組みを基盤とし、持続可能な社会について考え、学びを深める。</p> <p>身近な社会の中で、課題を発見するとともに、プログラミングの制作の中で、直列型、条件分岐型、繰り返し型を用い、課題を解決するための最適化を図る。</p> <p>生活や自分自身の中にある身近な課題を見だし、課題を設定し、それらを解決するためのものづくりを構想から設計、製作の手順で行う。また個々の製作したものを、生活、社会、環境の視点にも幅を広げて話し合い活動を取り入れ、より最適化を図る。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
外国語 (英語・国際)	【3年】単語を正確に書く力	ビンゴを用いた帯学習による繰り返しの単語学習に加え、語彙に関する小テストを行い、定着を図る。
	【2年】単語を正確に書く力 語形変化や語法を理解する力	ビンゴを用いた帯学習による繰り返しの単語学習や小テストを行う。また演習問題を通して基本的な文法操作の定着を図る。
	【1年】文の構造を理解する力	音読練習や会話活動に重点を置くことにより文の構造をインプットし、授業プリントで定着を図る。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	道徳的諸価値とその多様性を理解し、物事を多面的・多角的に考え他者を受容し、自身の考えを深める力。また、自分がどのように生きるかについて道徳的に判断していこうとする能力。	話し合い活動を充実させ、他者の考えを受容する態度を培うことで、物事を多面的・多角的に考えさせ、自身の考えを深める力を養う。発問の精選をし、問い返しを行うことで生徒の考えを深め、道徳的実践意欲や道徳的実践力を培う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	自ら進んで課題を設定し、他者と協力しながら集団の一員として課題解決に取り組む力。また自分が所属する集団をより良いものにしていこうとする態度。	学級活動、生徒会活動、学校行事において、生徒たち自身に課題を設定させ、どのように解決・達成していったら良いかを考えさせる。そこで集団の中での役割を自覚させ、集団としてよりよいものを作り上げていこうとする態度を様々な人の立場を考えさせることを重視しながら育てていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	主体的に課題を設定し、その課題を探究していく過程を理解し、各教科で身に付けた資質・能力を生かしながら他者と協働して課題解決していく力。	生徒たちが課題を探究していくためには探究のプロセスをよく理解する必要がある。各教科で身に付けた力を横断的に活用させながら、様々な意見を受け入れながら話し合い、自分たちのアイデアをまとめ、相手の立場に立って伝わりやすい発表を行う機会を意図して設定していく。